

# 複数武道種目授業

# 実践の紹介

## 「武道推進モデル校」事業を活用した 複数種目（柔道・空手道）の実践

酒田市立鳥海八幡中学校  
校長 田中 学

本校は、山形県の北部に位置する、生徒数242名の中学校である。平成22年度に近隣の鳥海中学校と八幡中学校が統合し、鳥海八幡中学校となって10年の節目の年を迎えている。校舎は八幡中学校を一部改修して使用しており、平成27年度には武道場が新築された。酒田市内の全8中学校の武道の授業は、柔道を取り扱っている。

令和元年度、本校はスポーツ庁の委託を受け、「武道等指導充実・資質向上支援事業」の「武道推進モデル校」になった。そこで柔道に加え、本校の武道場を会場に一般向けの教室が開かれている空手道を取り上げ、その魅力に触れる授業の実践に取り組んだところである。



冬の霊峰鳥海山と校舎

### 1 はじめに

武道の授業については、平成20年3月改訂の中学校学習指導要領を受け、平成24年度より必修化されている。

武道は、武技、武術などから発した我が国固有の文化であり、相手の動きに応じて、基本動作や基本となる技を身に付け、相手を攻撃したり、相手の技を防御したりすることによって、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

また、武道に積極的に取り組むことを通して、武道の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重して練習や試合ができるようにすることも重視している。

本校では、これまで、柔道・剣道・相撲の中から柔道を選択し、1学年から3学年までの指導内容を精選しながら履修してきた。令

### 2 実践内容について

#### (1) 柔道の指導について

本校の武道学習については、1学年から3学年までの3年間で学習内容を精選しながら履修している。1学年では、ほとんどの生徒が武道を初めて学習するため、基本動作と基本となる技を確実に身に付けさせ、それによって相手の動きの変化に対応した攻防ができるようにしている。

特に、相手を尊重する伝統的な行動の仕方や考え方、柔道着の着方、礼儀作法、受け身等について理解し、活動全体につなげていくことを大切にしながら指導をしている。

1学年の単元計画は〈表1〉のとおりで、柔道6時間、空手道1時間とした。

①1時間目には、オリエンテーシ

表1 複数武道種目の単元計画

種目	1	2	3	4	5	6	7
学習の流れ	柔道						空手道
	導入(あいさつ、伝統的な行動の仕方、健康観察、本時の学習の見通し)						
	準備運動	準備運動、基本動作と受身の練習					準備運動・礼法
	基本動作の学習	固め技による攻防					模範形演武
	受け身の学習	固め技の学習	投げ技の学習				基本動作
							突きの学習
						新聞紙割りゲーム	
	まとめ(本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ、柔道着の後片付け)						まとめ